

## 2010(平成22)年度事業報告(2010年4月1日～2011年3月31日)

新しい政府により、慢性疾患や障害のある人を取りまく環境が大きく変わることが期待される中で、2010(平成22)年度がスタートしました。協会からも、障がい者制度改革推進会議・総合福祉部会に参画を果たし、てんかんのある人も社会の一員として尊厳ある生活を求めることができる制度づくりの模索が始まりました。しかし、多くの議論が交わされ新たな方針が示されながらも、実際には予算の裏付けが伴わないなど、厳しい状況はなかなか変わりませんでした。また、私たちの生活も経済的不安の影響を受け、決して先行きが明るいことばかりではありませんでした。さらに、医療・福祉・保健・労働・教育の各分野において、てんかんを正しく理解する専門職の不在が課題になり、新たな年度に向けた取り組みを行いました。そして、年度末整理に追われている最中の3月11日に東日本大震災が発生し、協会の活動も被災地支援に集中しました。

このような停滞する背景の中で、協会は新たな公益法人制度への移行に向けた検討を進め、合わせて組織改革の議論を行いました。事業では、てんかん月間の取り組み、マスコミや関係団体などと協働をした社会啓発活動、そして、特にアジア・オセアニア地域との交流を重点とした国際活動に、積極的に取り組みました。また、当事者支援・家族支援の活動も、さらに進めました。

なお、年度当初に計画した活動の中で、人的・財的な不足などもあり、今年度中の実施に至らなかったり、成果を得られなかった事業もあります。これらについては、今後の活動の中で引き続き実現に向けた検討を進めて参ります。

以上につきまして、社会的背景、特筆すべき取り組み、実現に時間を要する活動として、下に要点をまとめました。

### 1. 社会的背景

- ①政権交代による新政府の方針(「障害者自立支援法」の廃止、「障害者基本法」の見直し、実現可能性の少ない予算裏付けと課題の多い議論)
- ②てんかんを正しく理解する各種専門職の不在(社会資源マップの作成の必要性)
- ③長く続く不況などの経済的不安による働く場の困窮
- ④補助金、助成金事業の先細り
- ⑤東日本大震災の発生

### 2. 特筆すべき取り組み

- ①新公益法人制度への移行方針を確定(公益社団法人の模索)
- ②てんかん月間2010において19年ぶりに「中央キャンペーン」を復活
- ③てんかん学会との連携強化(関係医療機関へのポスター配布、合同会議の定例化)
- ④マスコミと連携した活動(特集や連載への関与、記者への啓発活動)
- ⑤当事者・家族支援に向けた具体的なプログラム実施の模索(MOSE Sの活用、専門職の養成、など)
- ⑥国際活動の活性化(アジア・オセアニア地域との交流、ことばの問題の解消に向けて)

### 3. 実現に時間を要する活動

- ①インターネット環境の整備(ホームページの充実、会員サービスの見直し)
- ②学校教育現場へのアプローチ
- ③会費依存体質の見直し
- ④新しい支部活動、役員の見直し
- ⑤名簿管理、地域ネットワークづくりの見直し

以下、今年度内に計画をした事業の内、次の事業を実施しましたので報告いたします。

## 社会啓発事業

### 月刊「波」の発行

※JKA競輪補助事業(全国財団経由)

- 1). 毎月7,500部発行(通巻474号～487号)／B5版・本文36頁
- 2). チラシの作成
- 3). 編集委員会の開催(毎月)／委員12人

### 支部機関誌紙の発行・交流

- 1). 各支部の特徴を生かした誌面作りで、継続をして発行した。

### 小冊子・ビデオの作成・広報

- 1). IE NEWS日本語版(季刊)発行／B5版・本文20頁、7,400部 ※大日本住友製薬協賛事業
- 2). 入門シリーズ③「てんかんと基礎疾患」作成・協会編集 ※JKA競輪補助事業(全国財団経由)  
B5版・本文72頁、各1,000部作成・配布
- 3). 「抗てんかん薬ポケットブック」(改訂第3版)の発行 ※製薬企業19社からの協賛事業  
三島信行監修、ポケット版・104頁、12,000部作成
- 4). 既刊書籍・小冊子・ビデオ追加作成(てんかんと療育、など)
- 5). 既刊ビデオのインターネット配信

### 各種パンフレット等の活用・作成

- 1). 協会活動広報PRビデオの活用
- 2). コミュニケーション・ツール「患者さんの生活の質を高めるために」(付録／てんかん治療に関する質問票)を全国へ配布(A5版・本文8頁+質問票2頁) ※グラクソ・スミスクライン協賛事業
- 3). 「緊急カード」増刷分の周知・配布 ※日本てんかん学会協力事業
- 4). てんかんと正しく知ってもらうための各種啓発資料の作成・配布
- 5). てんかん学会会員の医療機関に対しポスターを配布 ★ ※東京都共同募金会寄付金配分事業  
読ませるポスターVer・A2版、2,200部作成
- 6). ホームページ(HP)での協会資料のダウンロードを実施

### てんかん関連書籍の頒布

- 1). 支部活動と連携をした書籍紹介・頒布
- 2). 関連優良図書を受託販売
- 3). 出版社と連携をした書籍の発刊
  - ①. 保健同人社発行本の監修と広報・買取／キーワードから読み解く「やさしいてんかんの本」(山内俊雄著、A5版・200頁、500部購入)
  - ②. クリエイツかもがわ発行本の増刷と広報・買取／てんかん入門シリーズ①「てんかん発作—こうすれば大丈夫 発作と介助」(川崎淳著、B5版・本文84頁、3,000部購入)
- 4). 関係団体事業や関連学会会場での協会ブースの設営と出張販売

### 「第33回てんかん基礎講座」の開催

※大塚製薬・ユーシービージャパン協賛事業

- 1). 基礎講座企画委員会の実施

#### 1. 大阪会場

- 1). 日時：7月29日(火)～30日(水)
- 2). 会場：チサンホテル新大阪
- 3). 参加者数：426人

## 2. 東京会場

- 1). 日時：8月3日(木)～4日(金)
- 2). 会場：大田区産業プラザPiO
- 3). 参加者数：387人

## 3. テーマと講師

- 1). 発作の種類と介助と観察／川崎淳(川崎医院)
- 2). 職業リハビリテーションの基礎とてんかん患者の就労支援／倉知延章(九州産業大学)
- 3). 成人自閉症の診断と治療／西脇俊二(ハタイクリニック)
- 4). ケトン食療法／今井克美(静岡てんかん・神経医療センター)
- 5). てんかん患者のメンタルヘルス～診断と治療～／松浦雅人(東京医科歯科大学)
- 6). てんかんと女性／兼子直(弘前大学)

## 4. その他のプログラム

- 1). 本人からの訴え、家族からの訴え
- 2). 参加者交流会
- 3). 質疑応答

## 支部におけるさまざまな講座の開催

1. 毎月「波」誌上にて告知・報告
2. 協会HPでも周知

## 「てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間2010)」の実施

- 1). 期間：11月1日～30日
- 2). パンフレット(カラー・ハガキ大・6頁)・チラシ(A4版)などの配布
- 3). 中央街頭キャンペーンの実施 ※製薬企業5社からの協賛事業
  - ①開催日：11月7日(日)10時～16時
  - ②開催地：新宿西口駅頭、新宿西口イベント広場(B1F)
  - ③参加者総数：当事者アピール39人、ボランティア参加60人、クイズラリー参加214人、専門相談16人、イベント広場来場者約400人
- 4). 全国大会における中央集会(記念式典)の開催
  - ①開催日：11月20日(土)12時30分～13時30分
  - ②開催地：ホテル熊本テルサ「テルサホール」(1F)
  - ③参加者総数：500人
- 5). 木村太郎記念賞、功労賞の贈呈
  - ①木村太郎記念賞：満留昭久(国際医療福祉大学副学長、福岡大学医学部名誉教授)
  - ②功労賞：a. 自治労熊本本部(熊本県)、b. 熊本パイロットクラブ(熊本県)、c. 大分精神障害者就労推進ネットワーク(大分県)、d. 福岡てんかん懇話会(福岡県)
- 6). 全国協賛事業・街頭活動の実施  
のぼり旗の活用、署名活動、などを全国各地で展開・アピール

## マスコミ等との連携

- 1). 正しい知識の普及、当事者とその家族による理解促進
  - ①企業内研修への当事者とその家族の派遣(体験発表)
- 2). マスメディアと連携した取り組みの実施
  - ①朝日新聞「医療欄／てんかん 新薬相次ぐ」の特集掲載
    - a. 掲載日：1月13日(木)、b. 内容：副作用を減らす新薬への期待や手術・検査に保険適用が広がっていることを紹介

- 3). 記事、放送内容への働きかけと情報提供
  - ①東日本大震災、交通事故、テレビ番組などへの情報提供・声明発表
- 4). 第44回日本てんかん学会記念市民公開講座「てんかんとどう取り組むか」への開催協力
  - ①開催日：10月16日(土)13時00分～15時30分
  - ②開催地：岡山コンベンションセンター「コンベンションホール」
  - ③参加者総数：200人
  - ④プログラム内容(講演)：
 

「てんかんの診断と治療」(大塚頌子)、「てんかんの外科治療」(上利崇)、「てんかんをもつ人の社会参加」(渡部恵子)
  - ⑤主 催：第44回日本てんかん学会

## **迅速で適切な情報の提供**

### **1. 「JEA通信」の発行**

- 1). 毎月発行(メールおよび印刷物として全国の関係者に配信)
- 2). 本部・支部間連絡リスト renraku-mlによる情報提供 ★
- 3). FAX. 通信も随時発行
- 4). 支部メールリングリスト jeamlでの意見交流

### **2. ホームページ(インターネット)の充実** ※ファイザー協賛事業

- 1). Home Page <http://www.jea-net.jp/> の更新/トップページへの年間アクセス数146,023HIT
- 2). オンラインでの入会申込みが増加(入会者104名/入会者全体の29%)

## **権利擁護活動**

- 1). 北海道(司法手続き改善)、
- 2). 青森県(不当辞職強要)、
- 3). 東京都(不当解雇)、
- 4). 滋賀県(生涯学習施設の利用制限)

## **療育指導事業**

### **てんかんに関する相談および支援**

- 1). 電話相談・来所相談(本部では毎週3回/年間電話722件・面接1件)
- 2). 支部・ブロックにおける相談活動の充実
- 3). ピアサポーターの育成、ペアレントメンターへの取り組み
- 4). 相談支援専門機関・団体との連携を模索
- 5). 日本てんかん学会との連携の準備を推進
- 6). 「ぜんちのあんしん保険」の推奨
- 7). 社会保険労務士による「年金教室」開催の連携

### **地域における福祉保健・医療の向上を目的とした活動**

- 1). てんかんを正しく理解する取り組み
- 2). 権利擁護活動の充実/ボランティアの育成、イエローリボンバッチの普及活動
- 3). 各種社会福祉事業の立ち上げ・運営への取り組み(支部活動を中心に)
- 4). 地域における療育活動を推進し活動のネットワークづくりを推進
- 5). てんかんのある人の自立生活プログラム ※東京都福祉保健財団助成事業(東京都支部実施分)

### **集団・個別療育指導活動**

※国庫補助事業(全国財団経由)

- 1). キャンプの実施(12支部で全13回実施した)
- 2). 水泳教室やレクリエーション活動を各支部で行った

## **当事者グループ等の育成、自立・就労・社会参加への取り組み**

- 1). 当事者組織委員会の実施
- 2). 「レクレーションマニュアル」の作成・配布（A4版、20頁）
- 3). 各種交流集会の開催（全国支部活動者会議、全国大会、など）
- 4). メーリングリストによる情報・意見交換
- 5). 公認会計士による「簿記セミナー」の試行（就労支援事業） ※ユーシービージャパン協力事業
- 6). MOSESワークブック翻訳・配布（B5版、216頁、5,000冊）★ ※製薬企業5社からの協賛事業

## **見学・研修(当事者・家族・専門職・学生、など)への対応**

- 1). 協会活動の紹介、参考文献・各種資料等の閲覧
- 2). てんかんに関する研修講師の派遣・紹介
- 3). 各種研修会を本部・支部において実施
- 4). ボランティア（研究者、専門職、マスコミ、一般市民など）による協力体制の拡充
- 5). 障害者や支援者の海外派遣事業への協力
- 6). 当事者の渡航、留学、来日などに対する援助

## **支部活動の充実・支援**

- 1). 支部還付金の交付
- 2). キャンプ助成金の交付
- 3). 全国支部活動者会議およびブロック会議等の開催

## **東日本大震災への対応・支援**

- 1). 災害支援対策本部の設置
- 2). 支援金募金の実施
- 3). 会員安否確認およびてんかん医療や法制度の最新情報提供
- 4). 現地対策支援センターの開設準備

## **「てんかんのある人の自立生活を支えるための事業-地域のネットワークづくり-」の実施**

※独立行政法人 福祉医療機構助成事業

- 1). 企画委員会の開催（3回）
- 2). 全国6カ所で相談支援研修会を開催、相談Q & A増補版/DVD(25分、500枚)およびテキスト(A4版・16頁・500部)、事業報告書(B5版・本文48頁、1,500部)の作成・全国配布

## **「MOSES翻訳・出版事業」の実施 ★**

※製薬企業5社からの協賛事業(\*2010年度継続事業)

- 1). 学会と協働の企画委員会を発足
- 2). 当事者向けマニュアル(B5版・216頁・5,000部)を作成【再掲】

## 調査研究事業

### **創薬ボランティア活動の実施**

- 1). 創薬ボランティア委員会の実施
- 2). 製薬企業との情報交換を行い、「波」誌上等で最新情報を提供した
- 3). 関連学会と連携して、抗てんかん薬・開発治験促進の働きかけを行った
- 4). 新薬承認の迅速化、稀少疾病用薬品の指定、未承認薬の承認前使用、などの要望活動  
①ガバペンチン小児適応拡大早期承認、②ホスフェニトイン注射剤早期承認、他

## 各種研修会の開催

- 1). 本部・支部において主催、共催、後援、協賛、協力のさまざまな形で実施した
- 2). 内容は、相談活動、社会福祉事業の立ち上げ、支部運営など、さまざまであった

## 各種調査・研究事業の実施と協力

- 1). 難治性疾患患者の生活実態に関する調査（厚生労働省難病対策委員会）
- 2). その他、関係機関・団体や大学関係者の調査研究に随時協力

## 国際活動の実施

- 1). 国際てんかん協会 (IBE) 日本支部としての活動
- 2). IBE 新会長 Mike Glinn さん来日記念座談会 ※日本てんかん学会、ユースビージャパン協賛事業  
①日時：6月19日(日)13時～16時、②参加者：9人  
③会場：東京ステーションコンファレンス
- 3). 韓国てんかん学会ジョイントシンポジウムへの派遣 ※日本てんかん学会主催事業  
①日時：6月17日(金)～18日(土)、②参加者：2人、③開催地：韓国
- 4). 第8回アジア・オセアニアてんかん学会 (AOEC) への参加 ※大塚製薬・ユースビージャパン協賛事業  
①人数：7名の役職委員を派遣  
②開催地・期間：オーストラリア(メルボルン)・10月19日(火)～25日(月)  
③内容：国際てんかん協会 (IBE) などと3つのミーティングを主催
- 5). IE NEWS 日本語版の発行(再掲)
- 6). アジア近隣諸国(韓国、台湾、など)の関係機関・団体との交流・協力支援
- 7). 国際賞にエントリー(日本人が受賞)  
①優秀当事者賞：福井典子  
②優秀ジャーナリスト賞：館林牧子(読売新聞社)
- 8). 山内国際基金の創設(アジア・オセアニア地域との交流目的が中心) ※山内俊雄監事提唱事業
- 9). 国際委員会の実施

## 情報提供機能の充実

- 1). 関連する図書・資料の整備・充実
- 2). 国内外の最新情報の確保・提供
- 3). インターネットを活用したシステムの検討を実施
- 4). インターネット委員会の実施

## その他の事業

### 第37回全国大会(熊本大会)の開催

※グラクソ・スミスクライン、他協賛事業

- 1). 日 時：11月20日(土)12時30分～21日(日)12時30分
- 2). 会 場：ホテル熊本テルサ「テルサホール」、他
- 3). 内 容：特別講演／東俊裕「これからの障がい者福祉がめざすもの」  
シンポジウム／「てんかんのある人の生きやすい社会をめざして」  
オープニング、開会式・記念式典、当事者交流会、懇談会、分科会、市内観光、閉会式、など
- 4). 参加者数：2日間延べ1,000人

## 関連法制度改正に伴う諸制度の改革・改善への取り組み

## 1. 施策推進・意見表明

- 1). 基幹施設（てんかんセンター）の開設・整備の促進
- 2). 専門医・専門医療体制の整備・充実
- 3). 障害者自立支援法に変わる新たな障害者総合福祉法（仮称）の整理
- 4). 国連・障害者権利条約の批准と障害者基本法改正
- 5). 障害者差別禁止法と障害者虐待防止法の議論
- 6). 所得保障制度・障害年金制度の見直し（診断書様式等）
- 7). 精神障害者保健福祉手帳のサービス拡大と重複取得に関する改善要望活動
- 8). 就業支援施策の拡充
- 9). 学校教育施策
- 10). その他

## 2. 請願署名活動・全国要望行動の実施

- 1). 請願署名活動の実施
  - ① 6項目に再構成した要望書で実施（署名用紙42,500枚）
  - ② 署名総数：84,181筆、募金総額：1,100,865円
  - ③ 「てんかんのある人の医療と福祉の向上を求める集会」  
実施日：5月31日（月）10時～13時  
会 場：衆議院第二議員会館「第3会議室」  
参加者：国会議員（3名）、議員秘書（23名）、協会関係者（22名）  
請願提出：紹介議員49名
- 2). 前回、衆参両院にて採択された全項目の具体的実現に向けた要望行動を実施
- 3). 市区町村への要望活動の全国展開に向けた準備

## 3. 制度見直しへの意見・対応

- 1). 議員・議会への働きかけ
  - ① 民主党障がい者政策プロジェクトチーム
  - ② 国連障害者の権利条約推進議員連盟
  - ③ 各政党への要望活動、等
  - ④ 地方議員・議会
- 2). 各種委員会・研究会等の傍聴と意見提出
  - ① 福祉制度
    - a. 障がい者制度改革推進会議（総合福祉部会などを含む）
    - b. 社会保障審議会・障害者部会
  - ② 医療・医薬品
    - a. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議
    - b. 厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会
  - ③ 労働政策
    - a. 労働政策審議会・障害者雇用分科会
    - b. 労働・雇用分野における障害者権利条約への対応の在り方に関する研究会
- 3). 「波」論説委員会の開催／機関誌「波」誌上に、毎月協会の主張をさまざまな視点から会員などに適切に伝えた。
- 4). 福祉施策検討委員会の開催、教育保健委員会の開催／年金における障害認定基準改正へのパブリックコメント、全国在宅障害児・者実態調査（仮称）試行調査ワーキンググループヒアリング、東日本大震災対策への要望書など、各種法制度の見直し時に意見の提出を行った。また、関係団体等の各種集会に参加し、関係機関に対する要望書を提出した。

## 組織強化・拡大に向けた取り組み

## 1. 委員会活動の実施

- 1). 協会組織のあり方検討委員会
- 2). 新公益法人制度への移行に関する検討と支部アンケートの実施
- 3). 組織活性化委員会  
①子育て“いきいき”プロジェクトの実施（再掲）

## 2. 機関誌「波」を拡げよう運動

- 1). 「波」を読もうチラシの作成・配布
- 2). 「てんかん月間」における会員獲得強化運動の実施
- 3). 病院の待合室に「波」をおいてもらおう運動の全国展開

## 3. 支部・ブロックの活性化

- 1). 「第27回全国支部活動者会議」（てんかん運動リーダーセミナー）の開催  
日時：5月29日（土）～30日（日）  
会場：東陽町ビスタホテル  
内容：基調報告、新公益法人制度改革の概要説明、分科会（3テーマ）。
- 2). 「ブロック会議」、「ブロック大会」の開催

### 《ブロック会議》

- |                    |            |       |
|--------------------|------------|-------|
| ①北海道ブロック会議(全道世話人会) | 3月12日～13日  | (札幌市) |
| ②東北ブロック会議          | 10月9日      | (秋田市) |
| ③関東 //             | 10月23日～24日 | (横浜市) |
| ④中部 //             | 10月23日～24日 | (長野県) |
| ⑤近畿 //             | 1月16日      | (大阪市) |
| ⑥中国 //             | 9月4日       | (米子市) |
| ⑦四国 //             | 6月12日～13日  | (今治市) |
| ⑧九州 //             | 3月27日      | (福岡市) |

### 《ブロック大会》

- |             |        |       |
|-------------|--------|-------|
| ①東北ブロック大会   | 10月10日 | (秋田市) |
| ②北越地区大会     | 6月26日  | (富山市) |
| ③中国ブロック地区大会 | 9月5日   | (米子市) |

- 3). アステラス・スターライトパートナー「ピアサポーター」養成研修への参加  
全国各地で開催された初級・中級研修会に、各支部からも積極的に参加した。

## 関係機関・団体との連携

### 1. 関係団体への加盟

- 1). 国際てんかん協会(IBE)
- 2). 全国心身障害児福祉財団(全国財団)
- 3). 全国社会福祉協議会・障害関係団体連絡協議会(障連協)
- 4). 全国病弱・障害児の教育推進連合会(病障連)
- 5). 日本障害者協議会(JD)

### 2. 関係する学会との連携

- 1). 日本てんかん学会
- 2). 日本てんかん外科学会
- 3). 日本小児神経学会
- 4). 日本精神神経学会
- 5). 日本神経学会
- 6). 日本精神科救急学会
- 7). 日本脳神経外科学会
- 8). 日本発達障害学会



- 9). その他、必要に応じて関係する学会と連携をした

### 3. 関係する団体等との連携

- 1). 日本障害フォーラム(JDF)
- 2). 日本障害者リハビリテーション協会
- 3). 全日本手をつなぐ育成会
- 4). 日本発達障害福祉連盟
- 5). 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)
- 6). 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
- 7). 全国精神障害者就労支援事業所連合会(旧全国職親会)
- 8). 日本難病・疾病団体協議会(JPA)
- 9). きょうされん
- 10). ヘルスケア関連団体ワークショップ
- 11). J-PALS・患者支援団体サミット
- 12). 日本製薬工業協会・患者会連携チーム
- 13). 米国研究製薬工業協会・患者団体支援プログラム
- 14). てんかん治療研究振興財団
- 15). 東京都神経科学総合研究所(東京都医学研究機構)
- 16). その他、必要に応じて関係する団体等と連携をした

### 4. 関係するてんかん機関病院等との連携

- 1). 国立精神・神経医療研究センター病院
- 2). 静岡てんかん・神経医療センター
- 3). 山形病院てんかんセンター
- 4). 西新潟中央病院てんかんセンター
- 5). 宇多野病院
- 6). 東京女子医科大学
- 7). その他の医療機関

### 5. 障害児・者父母団体地域指導者養成研修会への協力

※全国財団主催事業

- 1). 函館競輪場(北海道)、2). 千葉競輪場(千葉県)、3). 豊橋競輪場(愛知県)、
- 4). 防府競輪場(山口県)、5). 松山競輪場(愛媛県)

各ブロックにおいて会員が参加し他団体代表者との交流を深め、協会の活動紹介を行った。

## 学会・協会合同会議の開催

- 1). 第2回会議
  - ①日 時：9月11日(土)13時00分～15時00分
  - ②会 場：協会本部事務局会議スペース(東京)
  - ③出席者：(学会)10人、(協会)7人
- 2). 第3回会議
  - ①日 時：3月5日(土)10時00分～12時00分
  - ②会 場：千里阪急ホテル(大阪)
  - ③出席者：(学会)11人、(協会)7人
- 3). 内 容：地域医療のあり方、組織・事業の連携、今後の協議テーマ、その他

## 組織・管理

### 各種会議の開催

- 1). 総会  
 日時：5月30日(日) 13時～16時  
 会場：東陽町ビスタホテル  
 内容：2009年度事業報告、2009年度会計報告、2010年度事業計画、2010年度会計予算、役員選任
- 2). 理事会(第179回～第183回)  
 ①5月29日、②9月11日～12日、③11月20日～21日、④1月29日～30日、⑤3月5日～6日
- 3). 常任理事会(理事会に併設開催)

**委員会活動** (\*常設の委員会のみ) 【再掲】

- 1). 「波」編集委員会
- 2). 「波」論説 //
- 3). インターネット //
- 4). 協会組織のあり方検討 //
- 5). 基礎講座企画 //
- 6). 国際 //
- 7). 創薬ボランティア //
- 8). 組織活性化 //
- 9). 当事者組織 //
- 10). 福祉施策検討 //
- 11). 教育保健 //

**法人の管理**

- 1). 法人登記
- 2). 会員管理
- 3). 協会諸規程・規則・内規等の整備
- 4). 職員の人事・労務管理(※事務局会議等の開催)
- 5). 各種表彰等の推薦事務手続き  
 ①朝日社会福祉賞、②ヤマト福祉財団・小倉昌男賞、他
- 6). 厚生労働省法人概況調査、などへの対応
- 7). 郵政事業会社低料第三種郵便物定期調査、などへの対応
- 8). 新公益法人制度への移行の検討(※現在は暫定的に「特例民法法人」)

**財務・会計業務**

- 1). 一般会計および特別会計の適正処理
- 2). 中長期の財務計画の策定
- 3). 公認会計士による公益法人会計処理の指導
- 4). 新公益法人会計基準の完全適応化
- 5). 会費納入制度の新システム導入に向けた検討開始
- 6). 固定資産の時価適性評価

**加盟団体・関係団体との連携**

- 1). 前述の「その他の事業」で掲載した取り組みを行った。(再掲)